

# 本部を新社屋へ移転し、業務をスタート

株式会社平和堂は、本部を新社屋へ移転し、  
2017年2月13日から業務を開始いたしました。

新本部は、「オープンオフィス化によるワークスタイルの改革」をコンセプトにデザインされています。この新本部において、コミュニケーションを活性化するとともに、一層の業務の効率化と生産性の向上を実現してまいります。



新本部外観

新本部愛称は「<sup>ハトツク</sup>HATOC」…Head Office And Training Omotenashi Communication

新本部は、単なる本部(Head Office)ではなく、研修や学びの場(Training)であり、誠心誠意の応対を行うこと(Omotenashi)や、お客様や店舗の要望をしっかりと聞き情報や意志を伝える場(Communication)でもあるという思いから、「<sup>ハトツク</sup>HATOC」という愛称で呼んでいます。「本部は店のためにある」という考えのもと、親しみやすく風通しの良い、生産性の高い職場を目指します。

## コンセプト実現のための4つの指針

### コミュニケーションの活性化



部門間の壁や間仕切りのないオープンオフィス

部門間のコミュニケーションをとりやすくし、協働しやすいレイアウトにしました。また、会議室の壁面をできる限りガラス張りにする事で、オープンなオフィスを実現。さらに、研修等で活用する宿泊施設やホールも設けています。

### いきいきと働きがいのある環境



カフェテリア「マザーレイク」

開放的なカフェテリアでは、キャッシュレスで精算することができます。また、執務エリアの中にコミュニケーションエリアとして、社員が自由に使用できるエリアを設置し、コミュニケーションが取りやすくなっています。

### 業務の効率化をはかり生産性を向上



ユニバーサルレイアウトを導入したオフィス

人員の増減や組織の変更に柔軟に対応できるユニバーサルレイアウトを導入し、デスク、チェア、キャビネットを標準化するとともに、ペーパーレス化の推進のために複合機の総台数を集約しました。

### 環境配慮とセキュリティ強化



太陽光発電設備

屋上に100kWの太陽光発電設備を設置するなど、環境負荷の低減に貢献するオフィス環境を実現しました。セキュリティ面では、ICカードで入退館・入退室を管理するとともに、防災・保安用の非常用発電機を設置するなど、万が一のリスクにも備えています。

## オープン

2016年  
11月23日

# ながはまひらかた 「フレンドマート長浜平方店」オープン

2016年11月、滋賀県内73店舗目、長浜市内7店舗目となるフレンドマート長浜平方店をオープンいたしました。

### 「選ぶ楽しさ」にあふれたお店が誕生

約450坪の売場には、敦賀港から直送の鮮魚をご注文に応じてカットする対面コーナーを設けた鮮魚売場をはじめ、地元の生産者が育てた新鮮野菜が並ぶ「長浜そだち」、各国のチョコレートを集めた「ショコラマルシェ」を展開。「選ぶ楽しさ」にあふれた売場で構成されています。



### 地域の生活スタイルに沿った品揃え

商圏に工場が多いことから、ランチにぴったりの「店内できたて惣菜」を提供するデリカやお弁当のコーナーを強化しました。また、若年層や高齢者のお客様が多くご来店されることから、個食対応商品や毎日の食卓に便利な冷凍食品の品揃えを充実させています。



おかずとご飯を選べる「デリボックス」

## リフレッシュオープン

# さばえ 「アル・プラザ鯖江」

2016年3月に実施した食料品売場を中心とした改装に引き続き、同年9月、衣料・住居関連品売場を大幅にリニューアル。若い世帯や子ども連れのお客様に合わせたゾーニングへ変更するとともに、恐竜で有名な福井県らしく、玩具売場に恐竜オブジェを配置するなど、広域からのお客様が楽しく過ごしていただける売場を実現しています。



恐竜オブジェを配置した玩具売場

# はちまんうえだ 「フレンドマート八幡上田店」

フレンドコートやトイレの店内移設など、設備面での一新をはかるとともに、地場野菜コーナーを大幅に拡大。また、地元のお客様に人気が高い手づくりのつくだ煮や鮎寿司を展開し、さらにはリカー・冷凍食品コーナーの視認性を高めるなど、こだわりの品揃えと鮮度の高い売場づくりで、より魅力的なお店へと生まれ変わりました。



大幅に拡大した地場野菜コーナー